

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院、昭和大学附属東病院における昭和大学病院病院歯科による口腔健康管理の実態調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月1日から2025年3月31日までに昭和大学病院、昭和大学附属東病院の各診療科の医師から病院歯科に診療依頼があった患者さん

2. 研究目的・方法

日頃から、かかりつけ歯科を持ち、良好な口腔環境や口腔機能の維持することは、全身麻酔による手術後の誤嚥性肺炎等の合併症や「がん」の化学療法や放射線治療による口腔粘膜炎(がん治療の副作用としての口内炎)などの口腔内の有害事象を予防、軽減につながります。また、唾液による潤いがあり、痛みやムセがない状態で食事を摂取できることは、誤嚥性肺炎や窒息を予防、免疫力を高め、早期退院のために重要と考えられます。

入院時に、免疫力低下、虚弱、う蝕すなわち虫歯、歯周病、歯の欠損、口腔乾燥などで口腔環境が悪化していると、合併症や有害事象の誘因になることが推察されます。昭和大学病院、昭和大学附属東病院の患者さんの口腔環境、口腔機能の実態や歯科医療のニーズについては、その詳細は不明です。

本研究は、多職種や地域と連携しながら個々の患者さんに適切な歯科医療を提供することができる病院歯科を構築するために必要な知・技・態の抽出、病院歯科の役割・重要性の明瞭化、歯科専門職の育成、ひいては、患者さんのADL、QOL向上につなげることを目的とします。

方法：診療録(電子カルテ)より情報を抽出します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、口腔の状態(歯式、咬合支持、義歯の状態、歯科治療内容など)、全身状態(意識レベル、ADL、FIMなど)、栄養状態、摂食嚥下評価、患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、服用薬等)および臨床検査項目(血液、生化学、X線など)、リハビリテーションの実施状況などを調査項目とします。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 昭和大学病院 病院歯科 山口麻子

昭和大学歯学部 全身管理歯科学講座 医科歯科連携診療歯科学部門

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 病院歯科 氏名：山口麻子

住所：東京都品川区旗の台 1 - 5 - 8 電話番号：03-3784-8640